

届出

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の課程変更

注1

杏林大学大学院 保健学研究科博士後期課程・看護学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 看護学科三鷹事務室

職名・氏名 カチョウ アオ ヤギ タカ ノリ
課長 青柳 貴徳

電話番号 0422-47-5514（内線：6161）

（夜間） 0422-47-5514（内線：6161）

F A X 0422-44-0637

e-mail takaao@ks.kyorin-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1～3
2. 授業科目の概要	4～5
3. 施設・設備の整備状況、経費	6
4. 既設大学等の状況	7
5. 教員組織の状況	8～11
6. 留意事項等に対する履行状況等	12
7. その他全般的事項	13～15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 杏 林 学 園

(2) 大学名

杏 林 大 学

(3) 大学の位置

〒181-8611
東京都三鷹市新川六二丁目20番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年4月)		
学 長	(アトミ ユタカ) 跡見 裕 (平成22年4月)		
研究科長	(オオタキ ジュンイチ) 大瀧 純一 (平成18年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健学研究科 看護学専攻(博士後期課程) 博士(看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 保健学部看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	/	/	(2)	0.50倍	左記人数については, 大学院保健学研究科9月入試受験者であり, その時点で看護学専攻博士後期課程が届出申請中であつたため, 保健学専攻博士後期課程入試を受験して合格し, その後本人の希望があつたため, 看護学専攻博士後期課程に転科が承認されたものである。
志願者数	/	/	(1)		
受験者数	/	/	(1)		
合格者数	/	/	(1)		
B 入学者数	/	/	(1)		
入学定員超過率 B/A	/	/	(0.50)		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	/	/	[-] 1人	
2年次	/	/	/	
3年次	/	/	/	
計	/	/	[-] 1人	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [0]	(累積)計 [1]	[0] %
	うち平成19年度入学者 一人	平成19年度 一人	%
	うち平成20年度入学者 一人	平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 一人	平成21年度 一人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 1人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留學生の状況について内数で記入してください。

- ・留學生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<保健学研究科 看護学専攻・博士後期課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎看護科学	看護教育学A	1通		4		1						兼任1
	看護教育学B	1前		2		1						
	看護管理学	1前		2								
	医療安全管理学A	1通		4		1						
	医療安全管理学B	1前		2		1						
	生命倫理学	1前		2								兼任1
	統計学Ⅰ	1前	2									兼任1
	統計学Ⅱ	1後		2								兼任1
	感染症学	1前		2								兼任1
	遺伝学	1前		2								兼任1
	英語論文作成法	2前		2								兼任1
実践看護科学	成人看護学A	1通		4		1	1					
	成人看護学B	1前		2		1	1					
	精神看護学A	1通		4		1						
	精神看護学B	1前		2		1						
	地域看護学A	1通		4		1	2					
	地域看護学B	1前		2		1	2					
	母性看護学	2前		2		1						
	小児看護学	2前		2		1						
ジャーナルクラブ	ジャーナルクラブⅠ	1前	2			5						
	ジャーナルクラブⅡ	2前	2			5						
特別研究	特別研究Ⅰ	1後・2前	4			5						
	特別研究Ⅱ	2後	2			5						
	特別研究Ⅲ	3前	2			5						

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
6科目	18科目	0科目	24科目	一科目	一科目	一科目	一科目	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	136,727.16㎡	— ㎡	— ㎡	136,727.16㎡				
	運動場用地	14,570.00㎡	— ㎡	— ㎡	14,570.00㎡				
	小 計	151,297.16㎡	— ㎡	— ㎡	151,297.16㎡				
	そ の 他	34,950.65㎡	— ㎡	— ㎡	34,950.65㎡				
	合 計	186,247.81㎡	— ㎡	— ㎡	186,247.81㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	90室	105室	35室	9室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健学研究科看護学専攻(博士後期課程)			9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での 共用分 図書 15,600冊 〔31冊〕 学術雑誌 59種〔0種〕	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
		保健学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	1,995 [34] (1,995 [34])	121 [15] (121 [15])	0 [0] (0 [0])	438 (438)	0 (0)		0 (0)
		計	1,995 [34] (1,995 [34])	121 [15] (121 [15])	0 [0] (0 [0])	438 (438)	0 (0)		0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,606.35㎡		678		410,384				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	12,894.53㎡		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチェリー練習場1						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	197千円	262千円	図書購入費	191千円	349千円	449千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	4,353千円	1,628千円	2,093千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,050千円	600千円	600千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入等を充当する。						

- (注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
 - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	取定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	設年度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍			
医学部									
医学科	6	111	—	576	学士 (医学)	1.00	S45年度		東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
保健学部									
臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛生学)	1.22	S54年度		東京都八王子市 宮下町476番地
健康福祉学科	4	40	2年次 6 3年次 4	186	学士 (保健衛生学)	1.32	S54年度		東京都八王子市 宮下町476番地
看護学科	4	100	2年次 2 3年次 8	382	学士 (看護学)	1.14	H6年度		東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
臨床工学科	4	40	—	160	学士 (臨床工学)	1.27	H18年度		東京都八王子市 宮下町476番地
救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救命学)	1.23	H19年度		東京都八王子市 宮下町476番地
理学療法学科	4	40	—	80	学士 (理学療法学)	1.21	H21年度		東京都八王子市 宮下町476番地
総合政策学部									
総合政策学科	4	170	3年次10	720	学士 (総合政策学)	1.20	S59年度		東京都八王子市 宮下町476番地
企業経営学科	4	100	3年次 5	450	学士 (企業経営学)	1.14	H18年度		東京都八王子市 宮下町476番地
外国語学部									
英語学科	4	110	3年次 5	455	学士 (文学)	1.18	H18年度		東京都八王子市 宮下町476番地
中国語・日本語学科	4	40	3年次13	231	学士 (文学)	0.74	H18年度		東京都八王子市 宮下町476番地
応用コミュニケーション学科	4	40	3年次 2	390	学士 (文学)	1.09	H18年度		東京都八王子市 宮下町476番地
観光交流文化学科	4	70	3年次 3	70	学士 (観光交流文化学)	1.34	H22年度		東京都八王子市 宮下町476番地

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健学研究科看護学専攻・博士後期課程>

(1) 担当教員表

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授 (研究科長)	平成22年4月	精神看護学A 精神看護学B ジャーナルクラブ I ジャーナルクラブ II 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III					
専	教授	平成22年4月	看護教育学A 看護教育学B ジャーナルクラブ I ジャーナルクラブ II 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III					
専	教授	平成22年4月	地域看護学A 地域看護学B ジャーナルクラブ I ジャーナルクラブ II 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III					
専	教授	平成22年4月	医療安全管理学A 医療安全管理学B ジャーナルクラブ I ジャーナルクラブ II 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III					
専	教授	平成22年4月	成人看護学A 成人看護学B ジャーナルクラブ I ジャーナルクラブ II 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III					
専	教授	平成22年4月	母性看護学 小児看護学					
専	准教授	平成22年4月	地域看護学A 地域看護学B					

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	平成22年4月	成人看護学A 成人看護学B					
専	准教授	平成22年4月	地域看護学A 地域看護学B					
兼任	教授	平成22年4月	生命倫理学					
兼任	教授	平成22年4月	遺伝学					
兼任	教授	平成22年4月	感染症学					
兼任	教授	平成22年4月	統計学 I 統計学 II					
兼任	助教	平成22年4月	英語論文作成法					
兼任	講師	平成22年4月	看護管理学					

- (注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(表題)を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	3	0	1	10	0	6	3	0	1	10	0	
()	()	()	()	()	()	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健学研究科博士後期課程・看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会(学部・研究科)を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 運営委員会は、毎月1回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員(教員)8名で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項、について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①授業方法についての研究会(外部講師による講演会等) ②授業評価アンケート ③教員相互の授業参観 ④教員評価 ⑤新任教授・准教授による講演会の開催</p> <p>b 実施方法</p> <p>①外部講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。 ②学生による授業評価アンケートを毎学期実施している。結果は教員へフィードバックし、ホームページにも掲載している。 ③授業評価アンケート結果の優良者を学科ごとに選定し、その教員の授業を全教員に見学するよう求め、見学後、授業改善策に関するレポートを提出させている。また、授業実施教員との討論会も実施している。 ④評価シート様式を作成し、その様式に基づき各教員が自己評価を行い、評価結果を提出させ、評価委員による面接を実施している。 ⑤毎年1回新任教授・准教授による講演会を実施し、大学院生には出席を義務づけている。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>①講演は、年に数回程度実施しており、多数の教員が参加している。 ②授業評価アンケートは、原則として全授業で実施している。 ③年1回、授業見学を実施している。多数の教員が授業見学及び討論会に参加している。 ④年1回、全教員が自己評価を行い、評価委員の面接を受けている。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。</p>
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代社会の看護・保健の領域における複雑かつ多様な看護ニーズに応えるために、博士前期課程で培ってきた看護学の教育・研究をさらに深め、学際的・国際的な視野に立った高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有した研究者・教育者を養成することを目的とし、平成22年4月に開学した。現在、教育経験豊かな教員を専任教員として採用し、より高度できめ細かな看護教育の実践に努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・年1回公表している。（例年2月頃）

b 公表方法

・杏林大学の現況（自己点検・自己評価のためのデータブック）を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

(注) ・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ 無 <input checked="" type="radio"/>)
b 公表予定時期	(年 月 日)
c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク	(<input checked="" type="radio"/> 承諾する <input type="radio"/> 承諾しない)
d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス	(http://www. 未定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。